

英国 ナドルコットオレンジ品種の訴訟で小売業者と和解

[FreshPlaza 2024年10月25日](#)

ナドルコットプロテクションとセインズベリーが訴訟で和解

ナドルコットプロテクション社(NCP)とセインズベリー社は、イングランド高等裁判所において、セインズベリー社が製品仕様を変更し、タンゴールド/ナドルコットに関わる他の手続きの結果が出るまでタンゴールドの販売を中止することを条件に、訴訟(訴訟番号:HP-2024-000001)で和解したことを発表した。(以下「」は広報担当者による発表内容)

「この合意は、2024年9月11日にEU裁判所が、欧州によるナドルコットの保護に対してユーロセミージャス社が提出した無効申請を却下したこと、EU及び国際当局の決定(NCPの意見では、この決定はタンゴールドが本質的にナドルコットに由来する品種であり、したがってナドルコットの権利を侵害しているという見解を支持している)、さらに欧州植物品種庁の決定(タンゴールドとナドルコットの間には繁殖力に関連する2つの違いしか存在しないことを示した)に続くものである。」

「英国の裁判所でのセインズベリー社に対する訴訟は、NCPがヨーロッパの様々な法域の複数のスーパーマーケットに差し止め要求書を送付したことを受けて開始された。NCPは、ナドルコットの独占的権利を引き続き保護し、すべての関連法域で知的財産の不正利用を防止するためにすべての適切な措置を講じる権利を留保する。」

タイ 輸入シャインマスカットから法定の制限を超える農薬

[FreshPlaza 2024年10月25日](#)

タイ農薬警告ネットワーク(Thai-PAN)がチャラードスー誌(消費者向け雑誌)、FFC(消費者保護財団)及びFDA(食品医薬品監督庁)と共同で実施した最近の実験室内の検査で、バンコクとその周辺で販売されていたシャインマスカットブドウの24のサンプルのうち23に、法定限度を超える残留農薬が含まれていたことが明らかとなった。これは木曜日(10月24日)に発表され、この広く宣伝されている果実の安全性に対する懸念を強調している。

シャインマスカットの残留農薬レベルの調査は、チャラードスー誌が潜在的な健康リスクについて消費者から問い合わせを受けたことから開始された。バンコクとその周辺地域の15の販売場所から合計24のブドウサンプルが収集され、価格は3~21米ドル/kgであった。これらのサンプルは、ISO17025の認定を受けた組織であるBVAQラボラトリーによって分析された。

分析の結果、24のサンプルのうち9つだけが産地を追跡可能で、すべて中国産であることが明らかになった。1つのサンプルには、禁止されている有害化学物質であるクロルピリホスが含まれていることがわかり、残りのサンプルにはデフォルトの基準値を超える14種類の有毒残留物が含まれていた。この調査では、タイで禁止されている26の第3類有害化学物質と2つの(より毒性の強い)第4類化学物質を含む、合計50種類の有毒残留物が検出された。さらに、これらの物質のうち37物質は浸透性農薬であり、ブドウ組織内に留まる可能性があるため、特に懸念されている。

これらの調査結果を受けて、報告書は、シャインマスカットの小売業者と流通業者は、直ちに行動を起こし、影響を受けた在庫を処分し、輸入品のトレーサビリティを確保することを勧告している。公衆衛生省に対しては、表示に関する法律を施行し、食品中の残留農薬の基準の改訂を検討するよう求めている。また、消費者の健康を守るため、化学分析の結果を周知する迅速な警報システムを設置することが提唱されている。

出典: [The Nation](#)